

11月10日

新規グループは、「からくりおもちゃ」をモーター以外の動力（風力、水力、重力など）で動かす作業の続きを行いました。工業高校のお兄さん、お姉さんに助けられ、完成に近づいた子も多くいました。2月の発表会が楽しみなってきました。



片方だけのゴム動力だと摩擦で抵抗力が大きくて動かなかったけど、2つにして抵抗力を小さくしたら動いた



高校生や指導員の先生のおかげで、だいぶ進んでよかった。ゴム電池の固定がうまくいった。あとはプーリーを付けてゴム電池とつなげるだけなのでがんばりたい。

自分で作ったプーリーに穴を開け、そこに糸を通して中でしばったところを工夫した。



風車の向きを変えるのは難しい。ダンボールで羽を作ろうとしたが厚くてできないので、ペットボトルを使うことにした。



この歯車を使うと動力が伝わるよ



発明クラブだよ

豊橋少年少女発明クラブ 二十四年度

NO. 9

2012

12.15



継続グループ 2年目 3年目 オリジナル作品作り 自由 創意工夫

ありがとう

今日はあまり作品作りが進まなかった。画用紙を切ったり、ボールに穴を開けたり地味な作業をしていた。来月は完成に近づきたい。



苦戦している子！あきらめないでがんばろう



静電気でゴミをそうじする仕組みを考えているんだけど。小さく作った作品はけっこうゴミがとれやすいのに、大きくするとあまりとれなくなるのはなぜだろう???

前回の試作品より本を挟みやすいように工夫した。洗濯バサミの数を減らし、代わりにプラスチック板を厚く丈夫なものにした。サイズは予定とちがいで文庫本の大きさにした。今日は仮止めまで行った。家で実際に本が挟めるかどうかためしたい。時間もあまりないので集中して作品づくりをしたい。

松岡君のふりかえり

たまご割り機が「創意工夫展」の作品と同じ構成だったので、高校生の人といっしょに考えてもらった。工業高校生はさすがで、いろいろなものの仕組みを知っていた。



工業高校の先生

活動に参加し、子供たちの楽しそうな表情や一生懸命に作業に取り組んでいる姿を見てものづくりの大切さを再認識させられました。たくさんの既製品が存在する中で自ら考え、工夫して作品を作るということは、未来の日本工業を支えていくにはとても大事なことだと思います。是非ともこのような活動を今後とも大事にさせたいと思いました。

発明クラブホームページ：<http://www.t-hatu.jp>

発明クラブ事務局：info@t-hatu.jp